

<食物アレルギーをお持ちのお客様>

取扱注意

- ・お客様にお渡しせず、必ず自店舗にて確認しご記入ください。
- ・個人情報保護の観点から、手配に必要な箇所(旅行会社、航空会社、ホテル等)にはお伺いした内容について、必要な範囲で情報をお渡しすることをお客様にご案内し、ご了承を得てください。

1 具体的にどういった食材にアレルギーがありますか？

食材 _____

病歴 _____

お薬は持参されますか？ ☐ はい ☐ いいえ

⇒ どのような薬ですか？ _____

事前に担当医に相談されましたか？

☐ はい ☐ いいえ ⇒ 必ず担当医にご相談ください

2 ツアーに含まれるお食事のメニュー変更をご希望されますか？

☐ はい ☐ いいえ

メニュー変更の場合は手配手数料＋実費が発生する場合がありますがご了承いただけますか？

☐ はい ☐ いいえ

3 海外旅行の場合、機内食の変更をご希望されますか？

☐ はい ☐ いいえ

⇒ ☐ 5大アレルギー対応食 (小麦、蕎麦、乳製品、卵、落花生を含まない)

☐ 25種アレルギー対応食

(5大アレルギー＋アワビ、いか、いくら、えび、オレンジ、かに、キウイフルーツ、牛肉、くるみ、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチンの原材料を使用しない)

☐ ベジタリアン ☐ 厳格なベジタリアン

☐ その他 (_____)

4 機内食や旅行中のメニューの変更については下記の点をご理解、ご了承願います。

☐ 機内で提供される「5大アレルギー対応食」「25種アレルギー対応食」については製造過程においてアレルゲンの混入を防止してありますが、大気中の浮遊物など、微混入の可能性は否定できません。

☐ 旅行行程に含まれるお食事については、アレルギー対応ではなく、単にお申し出のあった食材を使用していない(＝アレルギー物質が全く混入しないとは言い切れない)に過ぎないお食事であることを予めご了承願います。

☐ メニュー変更の場合でも、調理場や調理器具は共有のため、多少なりとも物質が混入することが予測されます

☐ 団体旅行であるため、お食事に際しては他のお客様と一緒の着席となる場合があります。

☐ メニュー変更について他のお客様にご説明させていただく場合がございます。

☐ ホテル等での朝食やビュッフェスタイルのお食事についてはご自身でお召し上がりになる食材をお選びください。

☐ 症状が重篤になる場合は、予め担当医にご相談いただき、エピペンなどの処方を受けてください。なお、添乗員や現地係員等はエピペン注射のお手伝いは出来かねます。

☐ エピペンを機内や船内へ持ち込む場合には、保安検査でエピペンについて質問される場合があります。この場合、口頭での説明、もしくは英文で「epinephrine injector」と書いた紙などをご提示いただくと手続きがスムーズになります。